

事務事業評価票

所管部長等名	商工観光部長 山本 道弘
所管課・係名	重点港湾八代港営業隊
課長名	高崎 正

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画						
事務事業名	八代港振興事業		「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名			
会計区分	一般会計					
予算の事業名	八代港振興事業					
事業コード(大-中-小)	14	—	01	—	07	— — — —
施策の体系 (八代市総合計画の 実施計画における位 置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち				
	施策の大綱(節)【政策】	③暮らしを支えるまちづくり				
	施策の展開(項)【施策】	②港湾の充実				
	具体的な施策と内容	(1)港湾の機能充実				
根拠法令、要綱等						
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営		○ 一部委託		○ 全部委託	
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定	

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	国・県への要望	八代港港湾計画の早期実現 八代港を拠点とした地域経済の活性化
事業開始時点からこれまでの状況変化等	八代市・地元経済界一体となった精力的な要望活動の結果、八代港は確実に成長しており、今後も一層の連携を図りながら、課題の克服に取り組む。		

コスト・成果指標の推移		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	2,991	4,818	4,767	4,620	4,620	4,620	
	事業費(直接経費)	千円	891	1,318	1,267	1,120	1,120	1,120	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
		一般財源	千円	891	1,318	1,267	1,120	1,120	1,120
		概算人件費(正規職員)	千円	2,100	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	正規職員	人	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	従事者数	人							
	臨時職員等従事者数	人							

成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①	要望回数	国・県への要望活動が八代港港湾計画の早期実現につながるため指標として設定した。	回	12	4	4	4	4
②									
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価				
事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 本事業は八代港港湾計画の早期実現に向けた取組みを進めており、本市の施策である八代港の港湾力強化に繋がる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当で すか(国・県・民間と競合していません か)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B (現状分析等) 水深14m岸壁第1バースの岸壁と泊地は今年度完成見込みだが航路は平成31年度完成予定。穀物飼料を運ぶ大型船での満載入港が出来ない。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削減 することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 国、県、市ともに財政難であるため、優先順位をつけて要望することが大切である。 当事業は熊本県港湾協会負担金が支出の概ねを占め、負担金額は均等割り+事業費割で決定される。特に事業費割に占められる負担額が殆どで事業費割は当該年度の八代港整備事業費(国直轄事業+県事業)で算出される。 他に港湾都市協議会、日本港湾協会、海上保安協会熊本県支部に負担金を納入している。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善																									
今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 負担金支出団体の事業内容について、更なる事業の効率化や負担金額の適正化について、再検討を行うよう提言する。																							
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 国・県への精力的な要望活動を実施し、八代港の将来性や抱える課題等を訴えていく。八代港が整備されることにより、地域経済の活性化が期待できる。	改革改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成22年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------